



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月28日
東

上場会社名 住友重機械工業株式会社 上場取引所
 コード番号 6302 URL <http://www.shi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 真司
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 渡辺 美知子 (TEL) 03-6737-2331
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	864,490	△4.3	56,821	△24.5	52,657	△27.5	32,807	△28.1
2019年3月期	903,051	14.2	75,244	7.6	72,623	7.6	45,650	31.7

(注) 包括利益 2020年3月期 27,365百万円 (△23.7%) 2019年3月期 35,850百万円 (△23.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	267.77	—	7.1	5.4	6.6
2019年3月期	372.56	—	10.3	7.9	8.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 244百万円 2019年3月期 70百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	995,154	477,648	46.7	3,790.99
2019年3月期	954,051	465,001	47.5	3,701.01

(参考) 自己資本 2020年3月期 464,457百万円 2019年3月期 453,468百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	36,263	△57,752	35,964	83,630
2019年3月期	55,173	△54,973	△13,314	69,776

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	50.00	—	62.00	112.00	13,723	30.1	3.0
2020年3月期	—	56.00	—	35.00	91.00	11,149	34.0	2.4
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 2021年3月期の配当予想については、現時点では通期連結業績予想の算定が困難であるため未定といたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想について、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	122,905,481株	2019年3月期	122,905,481株
② 期末自己株式数	2020年3月期	389,392株	2019年3月期	379,953株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	122,519,612株	2019年3月期	122,530,341株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	203,847	△6.5	5,200	△44.0	13,107	△49.0	12,558	△30.3
2019年3月期	218,018	11.6	9,289	46.2	25,710	63.4	18,005	158.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	102.50		—					
2019年3月期	146.94		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	541,242		153,386		28.3		1,251.97	
2019年3月期	504,367		156,895		31.1		1,280.51	

(参考) 自己資本 2020年3月期 153,386百万円 2019年3月期 156,895百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「当期の経営成績の概況」及び4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 補足資料	15
(セグメント別受注・売上・受注残高)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当連結会計年度の概況

当期における当社グループを取り巻く経営環境は、国内においては、企業業績は全体として底堅く推移しましたが、製造業で機械投資に弱い動きが見られ、海外においては、米国は景気回復が継続したものの製造業で通商問題の影響などがあり、中国では景気に緩やかな減速傾向が現れるなど、全世界的に機械需要が調整局面を迎えることとなりました。また、米中貿易摩擦の深刻化、地政学上のリスクの継続及び為替相場の変動に加え、新型コロナウイルスの感染拡大など、不透明感が増すことにもなりました。

このような経営環境のもと、当社グループは「中期経営計画2019」を推進し、設備や研究開発などの成長投資の実施及びCSRの積極推進などの重点施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの受注高は8,262億円、売上高は8,645億円となりました。

損益面につきましては、営業利益は568億円、経常利益は527億円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は328億円となりました。また、税引後のROIC*は7.3%となりました。

*ROICとは、投下資本税引後利益率であり、投下資本(株主資本と有利子負債の合計金額)に対してどれだけ利益を出しているか、資本のコストに見合う収益性があるかを示す指標です。

②部門別事業の状況

i 機械コンポーネント部門

中小型の減・変速機やロボット用精密減速機の需要減少により、受注、売上ともに減少しました。また、売上の減少に加え、費用の増加及び機種構成の変化により、営業利益も減少しました。この結果、受注高は1,265億円(前期比6%減)、売上高は1,305億円(前期比2%減)、営業利益は55億円(前期比50%減)となりました。

ii 精密機械部門

プラスチック加工機械事業は、中国の電気電子関連の需要低迷や、国内及び欧州の需要が減少したことから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。その他精密機械事業は、半導体関連の需要が堅調に推移したことから、受注、売上、営業利益ともに増加しました。この結果、受注高は1,898億円(前期比1%減)、売上高は前期並みの1,850億円、営業利益は149億円(前期比16%減)となりました。

iii 建設機械部門

油圧ショベル事業は、アセアン地域の需要減少や中国市場での伸び悩み、台風被害の影響で部品の調達問題が発生したことなどから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。建設用クレーン事業は、国内や北米地区の需要が減少したことなどから受注、売上、営業利益ともに減少しました。この結果、受注高は2,595億円(前期比15%減)、売上高は2,728億円(前期比6%減)、営業利益は171億円(前期比22%減)となりました。

iv 産業機械部門

運搬機械事業は、電力、港湾向けの需要が引き続き堅調であったことなどから受注は前期並みでしたが、受注残の納期が翌期以降であるものが多かったことから売上は減少しました。また、売上の減少や機種構成の変化により、営業利益も減少しました。その他産業機械事業は、一部の産業用機器が前期に比べ減少したことから受注は減少し、前期末の受注残が少なかったことから売上、営業利益も減少しました。この結果、受注高は884億円(前期比3%減)、売上高は870億円(前期比7%減)、営業利益は71億円(前期比21%減)となりました。

v 船舶部門

船舶市況は引き続き低迷しておりますが、当期は前期と同じ3隻の新造船を受注しました。売上は前期と同じ4隻の引渡しでしたが、船舶修理事件の減少もあり減少しました。また、売上の減少に加え台風被害の影響もあり、営業損失となりました。この結果、受注高は301億円(前期比6%減)、売上高は329億円(前期比21%減)、営業損失は21億円となりました。

vi 環境・プラント部門

エネルギープラント事業は、国内のバイオマス発電設備の大型案件が前期に比べ減少したことから受注は減少したものの、受注残があったことから売上、営業利益は前期並みでした。水処理プラント事業は、排水処理装置の案件が前期に比べ減少したことなどから受注は減少しましたが、受注残があったことから売上、営業利益は前期並みでした。この結果、受注高は1,247億円(前期比35%減)、売上高は1,490億円(前期比1%減)、営業利益は119億円(前期比6%減)となりました。

vii その他部門

受注高は71億円(前期比2%減)、売上高は72億円(前期比1%減)、営業利益は24億円(前期比9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比べて、有形固定資産が198億円、現金及び預金が135億円、たな卸資産が119億円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて411億円増の9,952億円となりました。

負債合計は、有利子負債が514億円増加(対総資産比率は12.5%と4.8ポイント増加)したことなどにより、前連結会計年度末に比べて285億円増の5,175億円となりました。

純資産は、利益剰余金が184億円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて126億円増の4,776億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度比0.9ポイント減少し、46.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ139億円増加し、836億円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は363億円(前年同期は552億円の資金の増加)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益527億円、売上債権の減少額212億円であります。支出の主な内訳は仕入債務の減少額279億円、法人税等の支払額221億円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は578億円(前年同期は550億円の資金の減少)となりました。これは、主として固定資産の取得による支出413億円、連結範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出129億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は360億円(前年同期は133億円の資金の減少)となりました。これは、主として借入金等の増加額518億円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
自己資本比率 (%)	48.1	50.0	48.2	47.5	46.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	36.4	59.7	55.3	46.0	24.0
債務償還年数 (年)	3.7	1.6	0.9	1.3	3.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	9.1	28.9	72.5	51.2	30.5

自己資本比率＝自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率＝株式時価総額÷総資産

債務償還年数＝有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ＝営業キャッシュ・フロー÷利払い

(4) 今後の見通し

2021年3月期の業績見通しにつきましては、受注後リードタイムが短い機械コンポーネント部門、精密機械部門や建設機械部門を中心に、世界各国における新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受ける見込みですが、不確定要素が多く合理的な算定が困難であるため、2021年3月期の連結業績予想は未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

また2020年5月14日に公表のとおり、2020年5月28日に予定しておりました次期中期経営計画(2020年4月～2023年3月)の公表を、上記状況に鑑み2021年5月を目途に延期することといたしました。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分につきましては、期間利益に応じた株主配当及びその向上を基本姿勢としつつ、長期的かつ安定的な事業展開に必要な内部留保の充実を図りながら、これらを総合的に勘案し決定することとしております。また、配当性向につきましては、「中期経営計画2019」の期間中において30%維持を基本としております。

2020年3月期の配当金につきましては、中間配当(1株当たり56円)と合わせて1株当たり91円を予定しております。

なお、2021年3月期につきましては、通期連結業績予想の算定が困難であるため未定といたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を採用することとしておりますが、将来的な国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,589	87,067
受取手形及び売掛金	291,578	271,406
製品	74,552	81,573
仕掛品	72,522	76,565
原材料及び貯蔵品	41,971	42,840
その他	33,185	36,673
貸倒引当金	△3,829	△3,341
流動資産合計	583,568	592,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	172,609	178,188
減価償却累計額	△115,147	△115,971
建物及び構築物(純額)	57,462	62,217
機械装置及び運搬具	203,668	212,697
減価償却累計額	△142,832	△148,108
機械装置及び運搬具(純額)	60,836	64,589
土地	107,720	107,535
建設仮勘定	6,131	9,250
その他	54,550	66,653
減価償却累計額	△38,422	△42,179
その他(純額)	16,128	24,474
有形固定資産合計	248,276	268,066
無形固定資産		
のれん	24,049	33,505
その他	41,022	39,649
無形固定資産合計	65,071	73,154
投資その他の資産		
投資有価証券	18,270	19,771
長期貸付金	3,812	3,213
繰延税金資産	26,874	26,928
退職給付に係る資産	1,213	2,936
その他	12,280	12,600
貸倒引当金	△5,314	△4,297
投資その他の資産合計	57,136	61,151
固定資産合計	370,483	402,370
資産合計	954,051	995,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	188,069	158,489
短期借入金	23,444	28,139
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,956	4,499
コマーシャル・ペーパー	17,000	35,000
未払法人税等	11,453	5,921
前受金	52,579	57,523
保証工事引当金	13,339	13,742
受注工事損失引当金	6,309	4,233
その他	58,229	58,111
流動負債合計	382,378	365,657
固定負債		
社債	10,000	30,000
長期借入金	10,912	27,032
事業譲渡損失引当金	115	115
製造物責任損失引当金	39	38
退職給付に係る負債	46,082	53,628
再評価に係る繰延税金負債	20,713	20,628
その他	18,812	20,408
固定負債合計	106,673	151,849
負債合計	489,051	517,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	26,071	26,070
利益剰余金	348,863	367,229
自己株式	△1,048	△1,080
株主資本合計	404,757	423,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,871	2,410
繰延ヘッジ損益	△318	△532
土地再評価差額金	40,820	40,626
為替換算調整勘定	8,879	4,911
退職給付に係る調整累計額	△4,542	△6,049
その他の包括利益累計額合計	48,711	41,366
非支配株主持分	11,533	13,191
純資産合計	465,001	477,648
負債純資産合計	954,051	995,154

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	903,051	864,490
売上原価	693,128	670,199
売上総利益	209,923	194,291
販売費及び一般管理費	134,679	137,470
営業利益	75,244	56,821
営業外収益		
受取利息	915	1,017
受取配当金	825	594
その他	3,279	3,462
営業外収益合計	5,019	5,073
営業外費用		
支払利息	1,082	1,184
為替差損	2,286	1,807
特許関係費用	765	904
投資有価証券評価損	1	1,041
その他	3,507	4,301
営業外費用合計	7,640	9,237
経常利益	72,623	52,657
特別損失		
減損損失	3,448	—
年金バイアウトに伴う損失	2,105	—
特別損失合計	5,553	—
税金等調整前当期純利益	67,070	52,657
法人税、住民税及び事業税	21,070	17,008
法人税等調整額	△2,637	830
法人税等合計	18,433	17,838
当期純利益	48,637	34,819
非支配株主に帰属する当期純利益	2,987	2,012
親会社株主に帰属する当期純利益	45,650	32,807

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	48,637	34,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,535	△1,465
繰延ヘッジ損益	△1,240	△215
為替換算調整勘定	△9,168	△4,272
退職給付に係る調整額	△857	△1,509
持分法適用会社に対する持分相当額	13	7
その他の包括利益合計	△12,787	△7,453
包括利益	35,850	27,365
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	33,345	25,657
非支配株主に係る包括利益	2,505	1,709

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,872	25,267	314,296	△1,000	369,434
当期変動額					
剰余金の配当			△11,641		△11,641
親会社株主に帰属する当期純利益			45,650		45,650
自己株式の取得				△49	△49
自己株式の処分		0		1	1
土地再評価差額金の取崩			10		10
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		804			804
米国税制改正による利益剰余金の調整額			548		548
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	804	34,568	△49	35,323
当期末残高	30,872	26,071	348,863	△1,048	404,757

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,406	925	40,831	17,565	△3,153	61,574	13,956	444,964
当期変動額								
剰余金の配当								△11,641
親会社株主に帰属する当期純利益								45,650
自己株式の取得								△49
自己株式の処分								1
土地再評価差額金の取崩								10
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								804
米国税制改正による利益剰余金の調整額								548
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,535	△1,243	△10	△8,686	△1,389	△12,863	△2,423	△15,286
当期変動額合計	△1,535	△1,243	△10	△8,686	△1,389	△12,863	△2,423	20,037
当期末残高	3,871	△318	40,820	8,879	△4,542	48,711	11,533	465,001

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,872	26,071	348,863	△1,048	404,757
会計方針の変更による累積的影響額			△178		△178
会計方針の変更を反映した当期首残高	30,872	26,071	348,685	△1,048	404,580
当期変動額					
剰余金の配当			△14,458		△14,458
親会社株主に帰属する当期純利益			32,807		32,807
自己株式の取得				△34	△34
自己株式の処分		△0	△0	2	2
土地再評価差額金の取崩			194		194
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	18,544	△32	18,512
当期末残高	30,872	26,070	367,229	△1,080	423,091

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,871	△318	40,820	8,879	△4,542	48,711	11,533	465,001
会計方針の変更による累積的影響額								△178
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,871	△318	40,820	8,879	△4,542	48,711	11,533	464,823
当期変動額								
剰余金の配当								△14,458
親会社株主に帰属する当期純利益								32,807
自己株式の取得								△34
自己株式の処分								2
土地再評価差額金の取崩								194
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,462	△213	△194	△3,968	△1,507	△7,344	1,658	△5,686
当期変動額合計	△1,462	△213	△194	△3,968	△1,507	△7,344	1,658	12,825
当期末残高	2,410	△532	40,626	4,911	△6,049	41,366	13,191	477,648

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	67,070	52,657
減価償却費	25,975	27,865
年金バイアウトに伴う損失	2,105	—
減損損失	3,448	—
受取利息及び受取配当金	△1,740	△1,611
支払利息	1,082	1,184
引当金の増減額 (△は減少)	597	△2,856
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,622	21,221
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△22,416	△17,759
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,972	△27,859
その他	2,448	5,104
小計	69,918	57,946
利息及び配当金の受取額	2,028	1,582
利息の支払額	△1,078	△1,189
法人税等の支払額	△15,696	△22,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,173	36,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△33,852	△41,316
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,081	934
連結範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出	△20,908	△12,864
関係会社株式の取得による支出	△189	△5,211
投資有価証券の売却による収入	407	839
短期貸付金の増減額 (△は増加)	139	325
貸付けによる支出	△161	△543
貸付金の回収による収入	337	190
その他	△1,827	△106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,973	△57,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△12,615	5,135
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	17,000	18,000
長期借入れによる収入	9,642	21,415
長期借入金の返済による支出	△8,944	△2,730
社債の発行による収入	—	20,000
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△11,636	△14,451
非支配株主への配当金の支払額	△662	△1,078
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5,166	—
その他	△934	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,314	35,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,613	△621
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,728	13,854
現金及び現金同等物の期首残高	85,503	69,776
現金及び現金同等物の期末残高	69,776	83,630

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益(ASC第606号)の適用)

米国会計基準を採用している在外子会社において「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を当連結会計年度より適用しています。これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しています。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用し、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減しています。

この結果、当連結会計年度の利益剰余金期首残高は178百万円減少しています。なお、当連結会計年度の損益に与える影響は軽微です。

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用子会社は、当連結会計年度よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、使用权資産及びリース負債を認識しております。

本基準の適用に伴い、連結貸借対照表は、当連結会計年度の期首において有形固定資産の「その他」2,684百万円、流動負債の「その他」1,146百万円及び固定負債の「その他」1,538百万円が増加しております。なお、従来無形固定資産の「その他」に含めて記載しておりました一部の資産2,830百万円につきましても、当連結会計年度より有形固定資産の「その他」に含めて記載しております。この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微です。連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローの支出が1,295百万円減少し、財務活動によるキャッシュ・フローの支出が1,295百万円増加しております。

(表示方法の変更)

(投資有価証券評価損の表示方法)

前連結会計年度において「営業外費用」の「その他」に含めておりました「投資有価証券評価損」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社及び各連結子会社別に、取り扱う製品・サービスにつきまして国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、本社及び各連結子会社の製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機械コンポーネント」、「精密機械」、「建設機械」、「産業機械」、「船舶」、「環境・プラント」の6つを報告セグメントとしております。

事業区分	主要製品
機械コンポーネント	減・変速機、モータ、インバータ
精密機械	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、半導体製造装置、レーザ加工システム、極低温冷凍機、精密位置決め装置、精密鍛造品、制御システム装置、防衛装備品、工作機械
建設機械	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械
産業機械	加速器、医療機械器具、鍛造プレス、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム、タービン、ポンプ
船舶	船舶
環境・プラント	自家発電設備、ボイラ、産業廃棄物処理設備、大気汚染防止装置、水処理装置、プロセス装置、反応容器、攪拌槽、空調設備、食品製造機械

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額
	機械 コンポー ネント	精密機械	建設機械	産業機械	船舶	環境・ プラント	計				
売上高											
(1) 外部顧客に 対する売上高	133,426	185,688	290,472	93,737	41,443	150,951	895,716	7,335	903,051	—	903,051
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,191	318	8	1,651	8	882	5,058	3,642	8,700	△8,700	—
計	135,617	186,006	290,480	95,387	41,451	151,832	900,774	10,976	911,750	△8,700	903,051
セグメント利益	11,069	17,682	21,957	8,955	830	12,565	73,058	2,180	75,238	6	75,244
セグメント資産	165,368	195,393	245,701	73,346	68,081	134,094	881,984	47,627	929,611	24,440	954,051
その他の項目											
減価償却費	5,603	5,395	9,442	1,744	1,149	2,083	25,416	559	25,975	—	25,975
のれんの償却額	664	537	414	122	—	460	2,197	—	2,197	—	2,197
減損損失	—	2,946	—	265	—	—	3,211	238	3,448	—	3,448
持分法適用会社 への投資額	204	2,351	—	—	—	—	2,555	—	2,555	—	2,555
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	29,167	8,588	7,564	2,446	3,726	3,494	54,985	1,220	56,205	—	56,205

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

2 主にセグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額
	機械 コンポー ネント	精密機械	建設機械	産業機械	船舶	環境・ プラント	計				
売上高											
(1) 外部顧客に 対する売上高	130,501	185,010	272,805	86,981	32,946	149,009	857,252	7,238	864,490	—	864,490
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,061	232	33	1,601	6	1,262	5,197	3,655	8,851	△8,851	—
計	132,562	185,243	272,839	88,582	32,952	150,271	862,449	10,892	873,341	△8,851	864,490
セグメント利益又は損 失(△)	5,522	14,931	17,144	7,073	△2,102	11,862	54,430	2,391	56,820	0	56,821
セグメント資産	189,933	187,526	258,542	77,383	63,880	131,933	909,197	63,053	972,250	22,904	995,154
その他の項目											
減価償却費	6,588	5,553	9,192	1,632	1,283	2,965	27,213	652	27,865	—	27,865
のれんの償却額	985	32	414	134	—	621	2,186	—	2,186	—	2,186
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社 への投資額	256	2,495	—	—	—	—	2,751	—	2,751	—	2,751
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	27,928	6,032	10,234	1,967	1,451	2,816	50,428	803	51,231	—	51,231

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

2 主にセグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,701.01円	3,790.99円
1株当たり当期純利益金額	372.56円	267.77円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	45,650	32,807
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	45,650	32,807
期中平均株式数(千株)	122,530	122,520

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(セグメント別受注・売上・受注残高)

①受注高

セグメント	前連結会計年度 (2018/4～2019/3)		当連結会計年度 (2019/4～2020/3)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減比 (%)
機械コンポーネント	134,018	14.1	126,458	15.3	△7,560	△5.6
精密機械	191,545	20.1	189,815	23.0	△1,731	△0.9
建設機械	305,320	32.1	259,542	31.4	△45,778	△15.0
産業機械	90,765	9.5	88,409	10.7	△2,356	△2.6
船舶	31,961	3.3	30,146	3.6	△1,815	△5.7
環境・プラント	191,321	20.1	124,742	15.1	△66,579	△34.8
その他	7,269	0.8	7,116	0.9	△153	△2.1
合計	952,199	100.0	826,228	100.0	△125,971	△13.2

②売上高

セグメント	前連結会計年度 (2018/4～2019/3)		当連結会計年度 (2019/4～2020/3)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減比 (%)
機械コンポーネント	133,426	14.8	130,501	15.1	△2,925	△2.2
精密機械	185,688	20.5	185,010	21.4	△677	△0.4
建設機械	290,472	32.2	272,805	31.6	△17,667	△6.1
産業機械	93,737	10.4	86,981	10.1	△6,755	△7.2
船舶	41,443	4.6	32,946	3.8	△8,497	△20.5
環境・プラント	150,951	16.7	149,009	17.2	△1,942	△1.3
その他	7,335	0.8	7,238	0.8	△97	△1.3
合計	903,051	100.0	864,490	100.0	△38,561	△4.3

③受注残高

セグメント	前連結会計年度末 (2019.3.31)		当連結会計年度末 (2020.3.31)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減比 (%)
機械コンポーネント	38,009	6.3	33,967	6.1	△4,042	△10.6
精密機械	82,584	13.7	87,388	15.5	4,804	5.8
建設機械	72,469	12.1	59,206	10.5	△13,263	△18.3
産業機械	95,765	15.9	97,193	17.3	1,428	1.5
船舶	39,990	6.7	37,190	6.6	△2,800	△7.0
環境・プラント	270,767	45.1	246,500	43.8	△24,267	△9.0
その他	1,418	0.2	1,296	0.2	△122	△8.6
合計	601,002	100.0	562,740	100.0	△38,262	△6.4